

公表: 令和6年 3月

事業所名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	6		設置基準は守っており、空間を構造化したり、活動時間を分ける等の工夫を行っている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	13	4		低年齢のお子さんには手厚い配置を行った。 感染症拡大時は、欠勤者が多数出たしまった。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	3		特性に合わせた配慮で各部屋ごとに何をするか目的を決めている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	5		特性に合わせて玩具等の配置を日々変更して新規性をもたせている。 部屋によって温度差が生じている場合もあるので温度管理ができると良い。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	17			各自が意見を伝えられる機会を委員等が考えてくれていると思う。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	17			保護者の方から意見が出たときに今後の方針をスタッフ間で共有している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	15	2			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	3	5	法人内の他事業所は第三者委員会を頼んでいるところがあるが、さんりんしゃでは行っていない。	外部評価について、職員に説明していなかったため、説明を行う。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15	2		法人内での研修の他、事業所内では定期的なカンファレンスなどは実施しているより多くの学習会が設定できると良い。	法人内での研修や各種委員会(虐待委員)による研修を実施している。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	16	1			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	15	1		さんりんしゃでの共通アセスメントツール、遠城寺式乳幼児分析的発達検査を年2回実施している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17			本人、保護者、支援者の視点で考えること、具体的な目標をたてることはチームで意識できている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17			職員一人一人が計画を意識して支援していると思う。 チーム間で定期的に計画を見直している。 記載されていない支援に取り組むことはある。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	17			クラスで打ち合わせを積極的に行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12	5		固定化しないよう考えているが、流れが同じ流れになっているものはある。設定活動を各クラスに合わせて考えることは課題である。	個々の発達に合わせた活動内容の設定やプログラムのバリエーションを増やす、また見直しをしていく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	17			スモールステップで支援している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	16	1		打ち合わせ時間が確保できない際には、ホワイトボードを活用した引継ぎや、PCのシステム上のツールを使い共有を図っている。	今後もPCやホワイトボードなどを活用して、職員間での情報共有を行っていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	6		クラス内でカンファレンスを実施したり、月1~2回程度のクラスミーティングで共有を図っている。PCのシステム上のツールも活用している。	時間の確保が難しい場合でもPCの活用や引継ぎ簿をうまく活用してお子さんの様子を共有していく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	17				

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	17				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16	1			管理者や児発管、担当者など会議の内容によって配慮している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	17				家庭の状況などによって保健センターなどと連携をとって支援を進めている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	12	2			受け入れ人数は毎年少ないが、どのお子さんも関係機関との連携は行っている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	11	2			受け入れ人数は毎年少ないが、どのお子さんも関係機関との連携は行っている。 うまく関係構築、連携が進まない場合もある。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17				引継ぎシートを作成し、保護者の同意を得た上で、特性や様子の共有を図っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17				引継ぎシートを作成し、保護者の同意を得た上で、特性や様子の共有を図っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	16	1			月1回札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがるの機関支援を受けて、支援のアドバイスをもらっている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	11		公園で場を共有することはあるが、計画的な交流はない。

	⑳	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	16	1		西区自立支援協議会の子ども部会の事務局や札幌市子ども部会の事務局を行っていて、地域の課題を共有し、研修を行っている。	
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	16	1			
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	17				
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	16	1			
	㉔	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	17			半期に1回懇談を実施し同意を得ている。	
	㉕	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	17				
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12	2	3	年5回以上保護者学習会を実施している。子育てについて、就学について等の内容で実施している。	
	㉗	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17				
	㉘	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	17			週予定、さんりんしゃ通信を発行している。	
	㉙	個人情報の取扱いに十分注意しているか	17				
	㉚	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	17			活動の予定などそのお子さんや保護者が分かる形態で伝えるようしている。	
	㉛	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	13	地域の方を招いての行事は行っていない。	
	非常時等の対応	㉜	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	17			
㉝		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	15	1		年間計画の中で、避難訓練日を設定し、火災・地震・不審者・遭難等に備えて訓練を行っている。	月1回火災訓練の実施ができなかった月もあったので改善していく。
㉞		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14	3			

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	16				
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	1	1	ヒヤリハットの回覧は行っており、ファイルに綴っている。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	16				
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	12	3	1	現在身体拘束が必要なお子さんはいないが、拘束を行わなくてもいいように支援を構築しており、職員間でもお子さんへの対応に関する確認を朝の朝礼時に実施している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。